

I 第48週の発生動向 (2014/11/24~11/30)

1. インフルエンザについては、患者報告数は5人で、迅速診断キットによる型別はいずれもA型でした。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で第45週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の189人から160人に減少しました。
4. 水痘については、むつ保健所管内で警報が解除されました。
5. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で前週から**警報**が継続しています。

II 第48週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科 (90) インフルエンザ	1	0.1			1	0.1			1	0.1	2	0.3	5	0.1	3			1	0.1
(79) RSウイルス感染症	24	3.0	14	1.6	4	0.4	2	0.4	2	0.3	4	1.0	50	1.2	8			24	3.0
(80) 咽頭結膜熱	3	0.4	35	3.9	2	0.2	6	1.2					46	1.1	6			3	0.4
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.0	10	1.1	11	1.1			5	0.8	1	0.3	35	0.8	0			8	1.0
(82) 感染性胃腸炎	66	8.3	20	2.2	37	3.7	12	2.4	14	2.3	11	2.8	160	3.8	-29			66	8.3
(83) 水痘	5	0.6	8	0.9	2	0.2			9	1.5	13	3.3	37	0.9	-9			5	0.6
(84) 手足口病	1	0.1	2	0.2	3	0.3							6	0.1	0			1	0.1
(85) 伝染性紅斑			3	0.3	21	2.1			4	0.7			28	0.7	2				
(86) 突発性発しん	2	0.3	4	0.4	7	0.7	1	0.2	10	1.7	4	1.0	28	0.7	6			2	0.3
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ			1	0.1									1	0.0	0				
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1									3	0.8	4	0.1	3			1	0.1
眼科 (91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎	2	1.0	3	1.0			2	2.0	1	0.5			8	0.7	3			2	1.0
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎											2	2.0	2	0.3	-3				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)					2	2.0	1	1.0					3	0.5	2				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):弘前4人、五所川原1人(2014年計:346人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症です。

主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こします。健常者に感染症を起こすこともあります。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症、カテーテル関連血流感染症、敗血症、髄膜炎その他多様な感染症を起こします。ただし、無症状で腸管等に保菌されることも多いです。当該細菌は、カルバペネム系抗菌薬を含む多くの広域β-ラクタム系薬剤に対し耐性を獲得しているのみならず、他の系統の、例えばフルオロキノロン系やアミノグリコシド系の薬剤にも多剤耐性を獲得していることが多く、感染症を引き起こすと治療が難しくなります。また、この菌種はもともと腸内に棲息しやすい菌種であるため、ヒトの腸内に長く定着する性質を持ちます。

平成26年9月19日に感染症法施行規則が改正され、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」が感染症法に基づく医師の届出対象の感染症(五類全数把握疾患)に追加指定されました。第46週現在の全国における累積報告数は176人(男性101人、女性75人)です(図1)。発生前年齢は60歳代以上の高齢者が多く増えていますが、その中でも70歳代以上が大半を占めています(図2)。本県においては2人の患者報告があります(男性1人、女性1人)。

【参考】厚生労働省「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」、国立感染症研究所HP

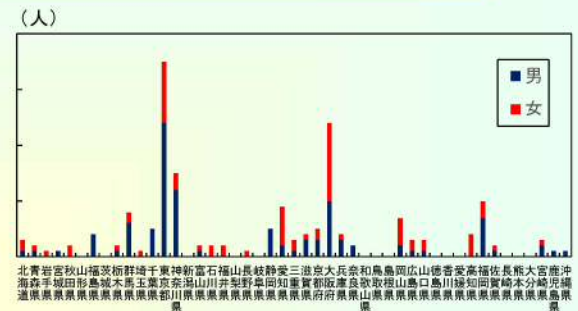


図1 届出状況(2014年38~46週)

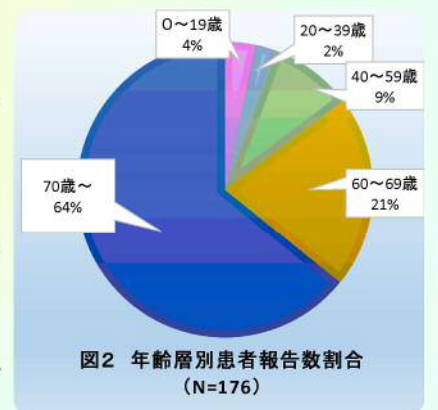


図2 年齢層別患者報告数割合 (N=176)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第32週～第48週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌 感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人 後天性免疫不全症候 群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌 感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌 感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌 感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症 10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌 感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30						

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第38週～第48週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	4	1	1	
39	H26.9.22 ~ H26.9.28		1	3	1	2	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	4	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	1	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	1	1		
48	H26.11.24 ~ H26.11.30		4		1		

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第46週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回盲熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボリリス症	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	22892	4	134	3894	53	15	122	419	15	8	1	1	1	58	12	170	325	223	2	10	1	56	1	14

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	慢性的インフルエンザ菌感染症	慢性的髄膜炎	慢性的肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パコマイシン耐性球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	播種性クリプトコックス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1076	44	977	202	397	97	153	232	1326	57	172	30	1486	9	1433	118	44	311	457	176	81	17	11	

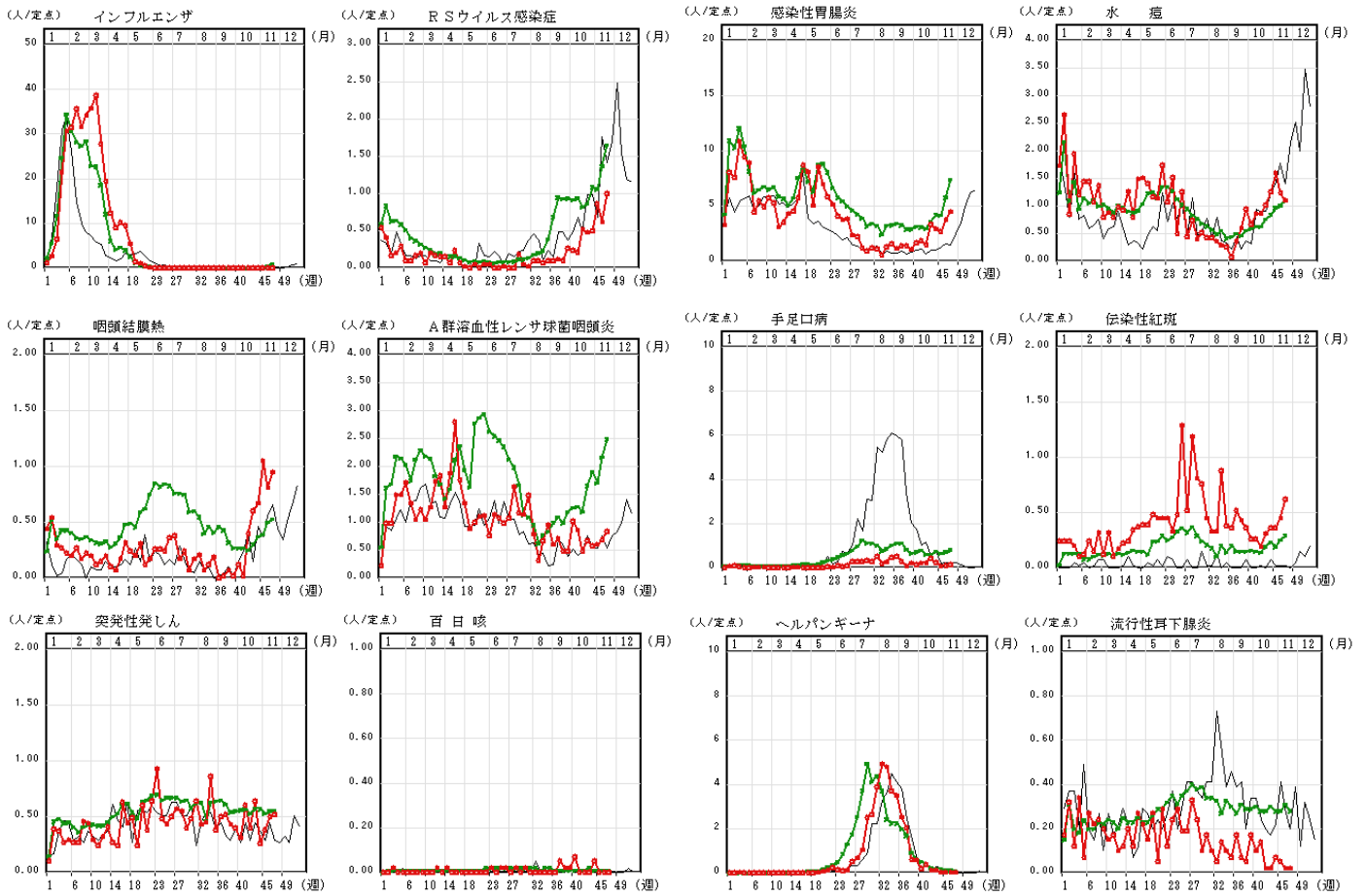
青森県

(2014年第1週～12月1日16:00累計)

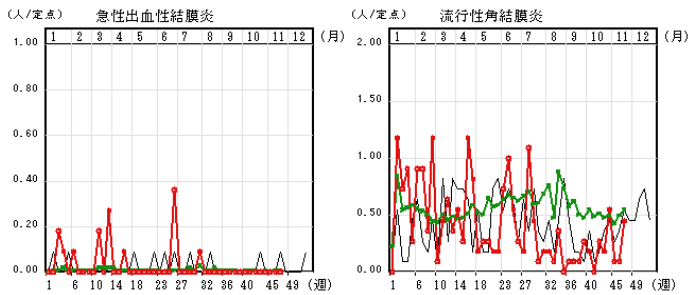
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	慢性的インフルエンザ菌感染症	慢性的肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		
累積報告数	346	20	2	4	12	1	3	1	6	10	10	1	1	4	1	1	6	4	1	2		

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第47週)

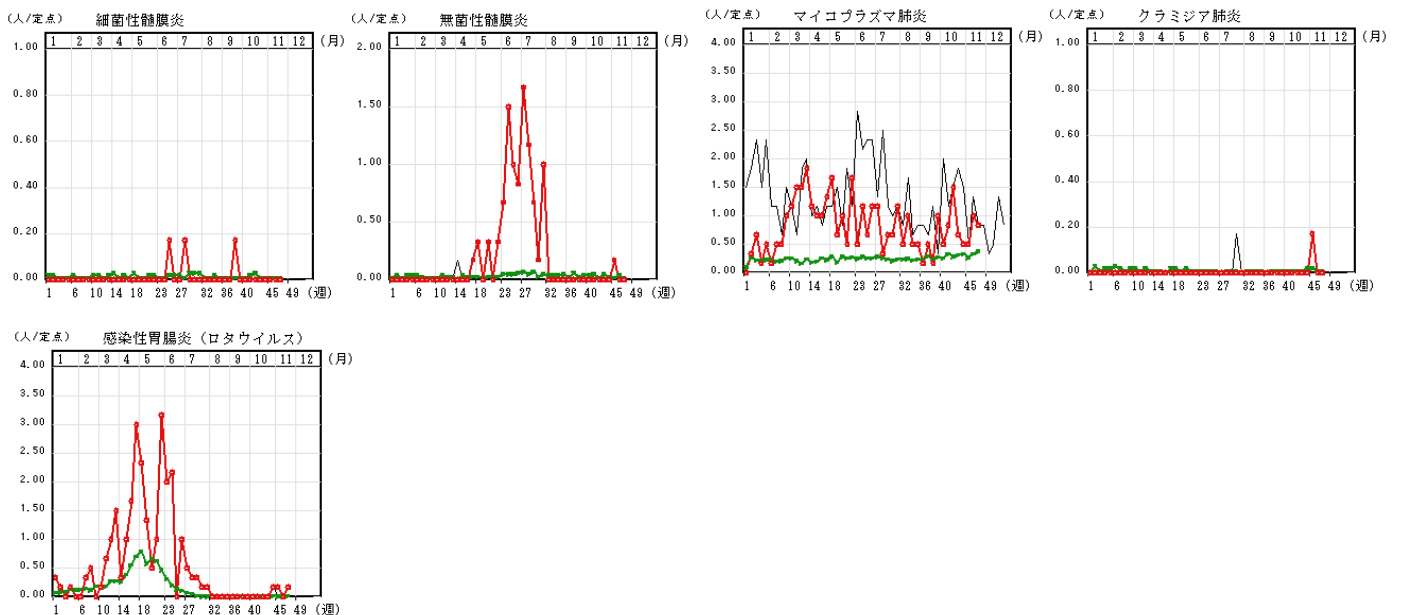
グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第47週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第47週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第48週はありませんでした。

平成26年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
障害関係施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
その他施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
計(月別)	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0